

卓 話

平成 24 年 11 月 13 日

「社会奉仕における超私の奉仕」

パストガバナー服部芳樹先生の卓話報告

会長 安田高志

服部先生は、パソコンとプロジェクターを使いながら「ロータリーの奉仕とは」の説明されました。

まず、我がクラブ会員に対し「ロータリーから何を得ましたか。」「なぜ、会員なのか。なぜ、例会に出席しているのか。」クラブの地域社会における存在意義やクラブ独自の長期戦略という問いかけから始まりました。そして、ロータリアンとは綱領を実践する人であり、ロータリアンの集まりがロータリークラブとのことです。

それから、綱領についての説明がありました。綱領とは、何事を成すにも奉仕の理想を心に置き育て、奉仕の機会を求め、知り合いを広め交流を深めて、自己の職業倫理を高め、職業を通じて社会に奉仕することです。

最後に、ロータリアンの使命は、「入りて学び出て奉仕せよ」の言葉で終わられました。クラブ内で奉仕活動を学びながら会員それぞれが、職業を通じて奉仕活動の実践をすることがロータリアンとしての基本であると知りました。

そこで、あらためてロータリーソングの歌詞を見ました。

我等の生業さまざまなれど

奉仕の理想に集いし友よ

ロータリアンは、力むるところは向上奉仕で

集いて図る心はひとつ、望は世界の久遠の平和

最後に、永久に栄えよ我等のロータリー。

ロータリアンとしての行動指針が歌われていることを再認識しました。

服部パストガバナーさま、ありがとうございました。



卓話者 パストガバナー 服部芳樹様